

計画者	合同会社 北海道山岳整備・上川総合振興局				
担当者	氏名	岡崎哲三	電子メール	sangakuseibi@potato.ne.jp	
			電話番号	0166-84-5115	
対象箇所	層雲峡勇駒別線 雲の平				
登山道 管理水準	保全対策ランク	A・B・C・D	利用体験ランク (大雪山グレード)	1・2・③・4・5	
作業の 目的	2016年の豪雨で崩れた登山道を2017年に補修を行なった。その時は崩れる可能性の高い 法面を保護する作業を行なったが、今回は同じ場所を路床を保護する施工を行なう。				
利用する工 法	分散排水工	床止工	土留工	マルチング工	
	路面処理工	段差処理工	植生基盤工	その他()	
作業予定日 時又は期間	2018年8月18日～30日		参加予定人数		
			参加者内訳	参加者の一般公募 ● 実施する 実施しない	
安全対策 (保険の適用、 連絡網の整備 等)	ボランティア保険の適用 大雪山・山守隊の連絡網を使った広報				
主な資材と その調達 (予定)	資材	数量	調達方法		
	ヤシネット		現地採取／搬入(計画者の自己資金・寄付・その他)		
	ヤシ土嚢		現地採取／搬入(計画者の自己資金・寄付・その他)		
	土嚢		現地採取／搬入(計画者の自己資金・寄付・その他)		
	土嚢		現地採取／搬入(計画者の自己資金・寄付・その他)		
道具の貸し出 し希望 (自然保護官 事務所・森林 管理署)	物品	数量	希望先	貸出予定日時	返却予定日時
	背負子	25	環境省	8月17日～8月18日	8月18日～20日
	土嚢袋詰め器具	4	森林管理署	8月17日～8月18日	8月18日
	スコップ	2	森林管理署	8月17日～8月18日	8月18日
位置図(地形図、国立公園の公園計画図、国有林又は道有林の施業計画図など)					
事務局記入欄					
国立公園	保護規制計画:	特別保護地区			
	利用施設計画:	層雲峡勇駒別線道路(歩道)			
	事業執行者:	北海道	担当部署:	上川総合振興局環境生活課	
土地所有	国有林・道有林・その他()		担当部署:		
天然記念物	該当あり・該当なし		担当部署:		
備考					

課題(問題点・作業の必要性)／ねらい・目標

2018年7月2～5日の豪雨により、路床が10～15cm下がり、2017年施工の法面保護箇所にも崩れが起きている。今後も土壌流出が予想されることから、土留、流水処理、歩行路の確保などの施工を行なう。同時に法面保護工のメンテナンスも行なう。

施工方法

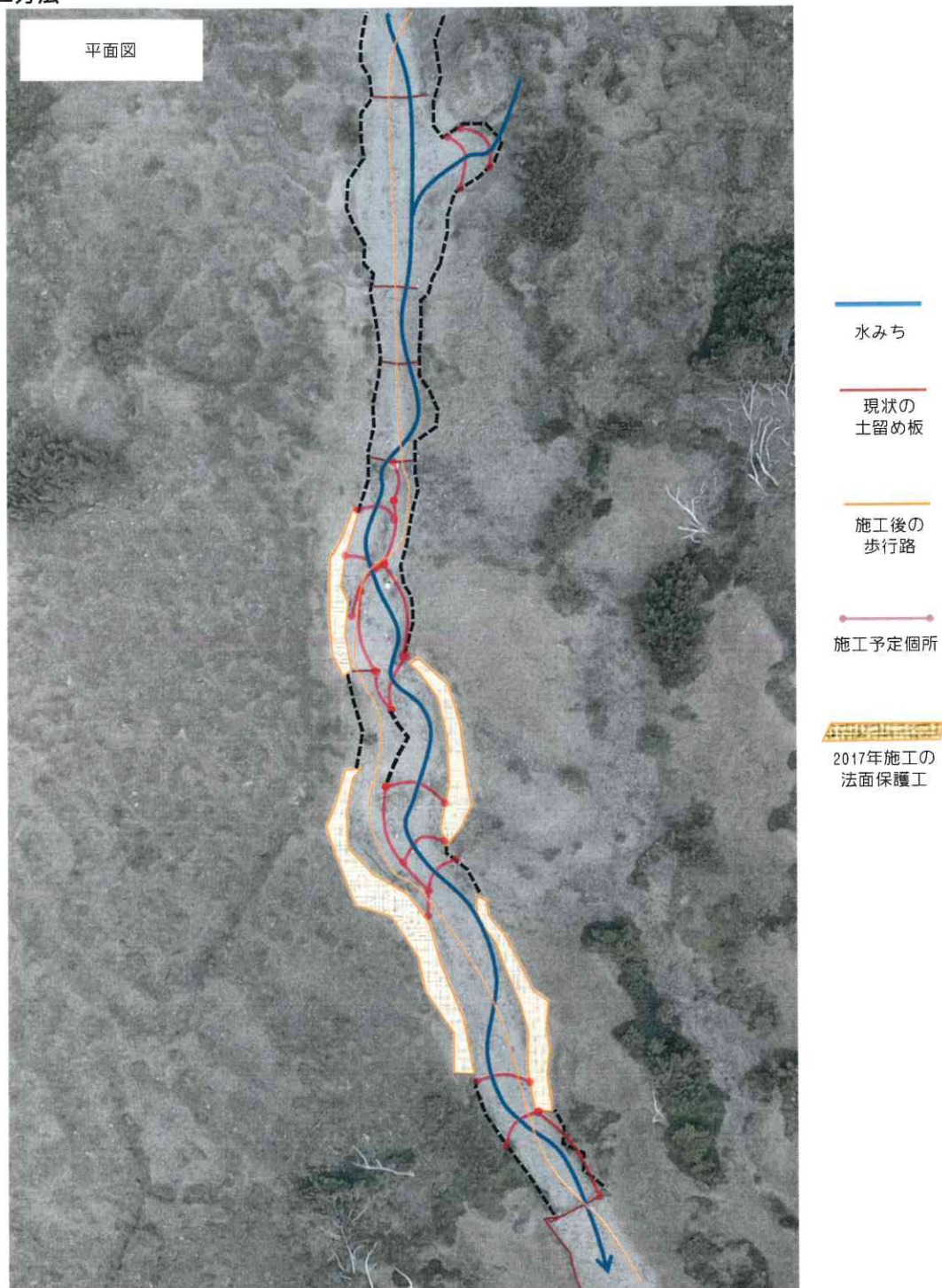


備考

7月の豪雨により、登山道下部の植物帯へ土壌が大量に流出し堆積している。本施工の資材として流れ出た土壌を使用することで、土壌を元に戻し、「現状復旧」を目指す。これほど大規模に侵食した火山灰地質の流水処理施工は過去にほとんど例がなく(間宮城が一例)、参考事例が少ない。過去事例から、資材として木材や石材では火山灰や流水に対応できない場合があると考え、できるだけ現場にある素材を使った土嚢やヤシネット施工を試す。また、植物の復元での根張りが土壌安定効果が高いと思われるので、植物が復元できる構造を目指す。

課題(問題点・作業の必要性)／ねらい・目標

施工方法

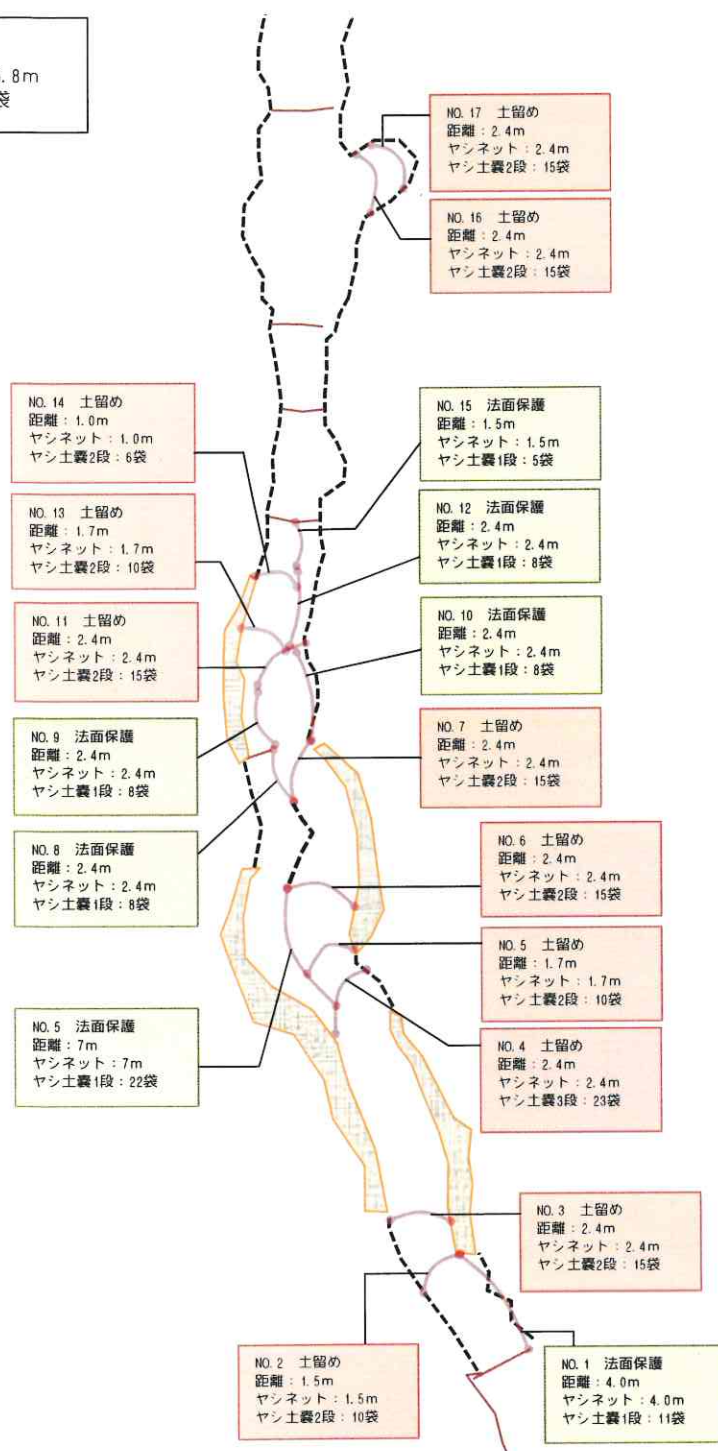


備考

課題(問題点・作業の必要性)／ねらい・目標

施工方法

<施工資材量>
 ・ヤシネット：46.8m
 ・ヤシ土嚢：218袋

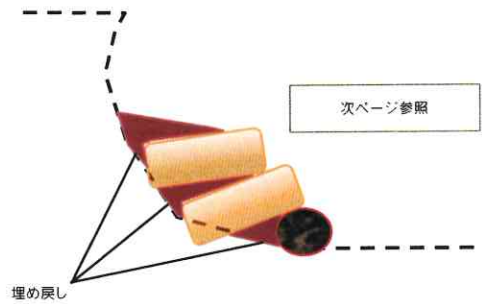


備考

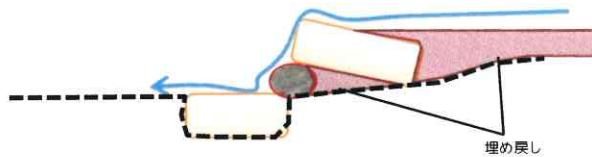
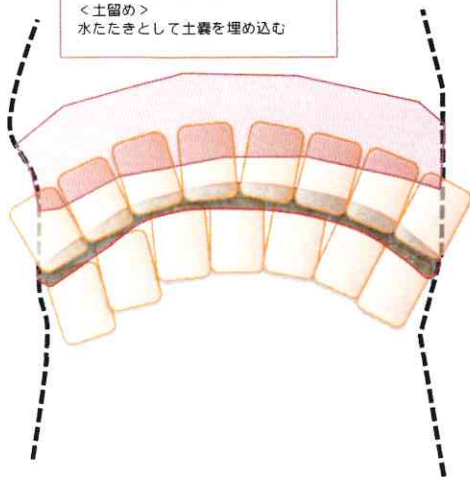
課題(問題点・作業の必要性)／ねらい・目標

施工方法

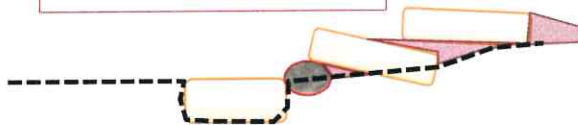
＜法面保護＞
ヤシネット、土嚢2段の場合



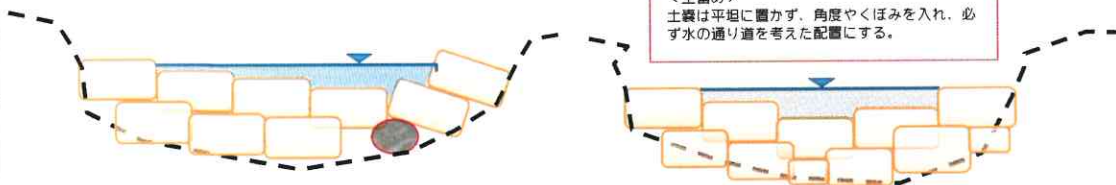
＜土留め＞
水たきとして土嚢を埋め込む



＜土留め＞
高さがあるときには2段にして対処する



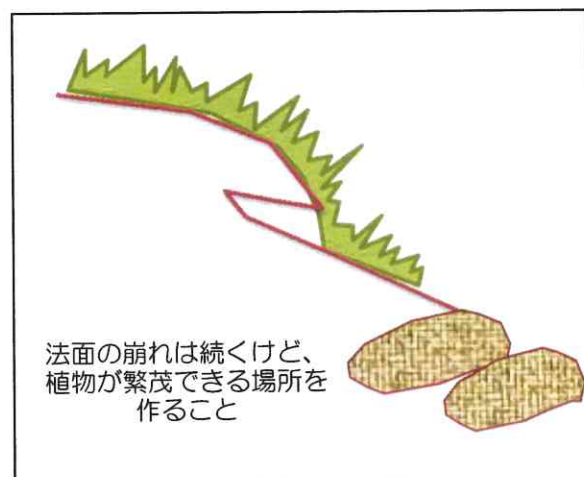
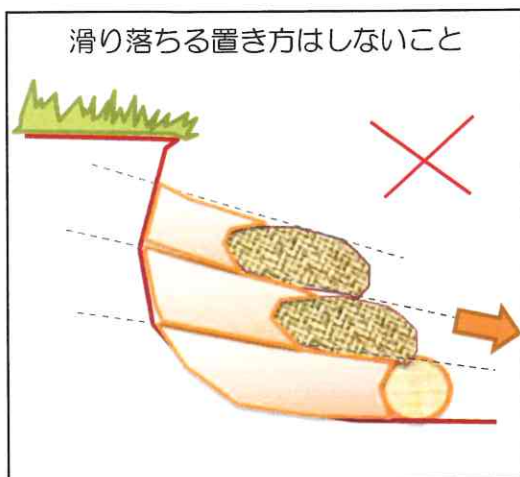
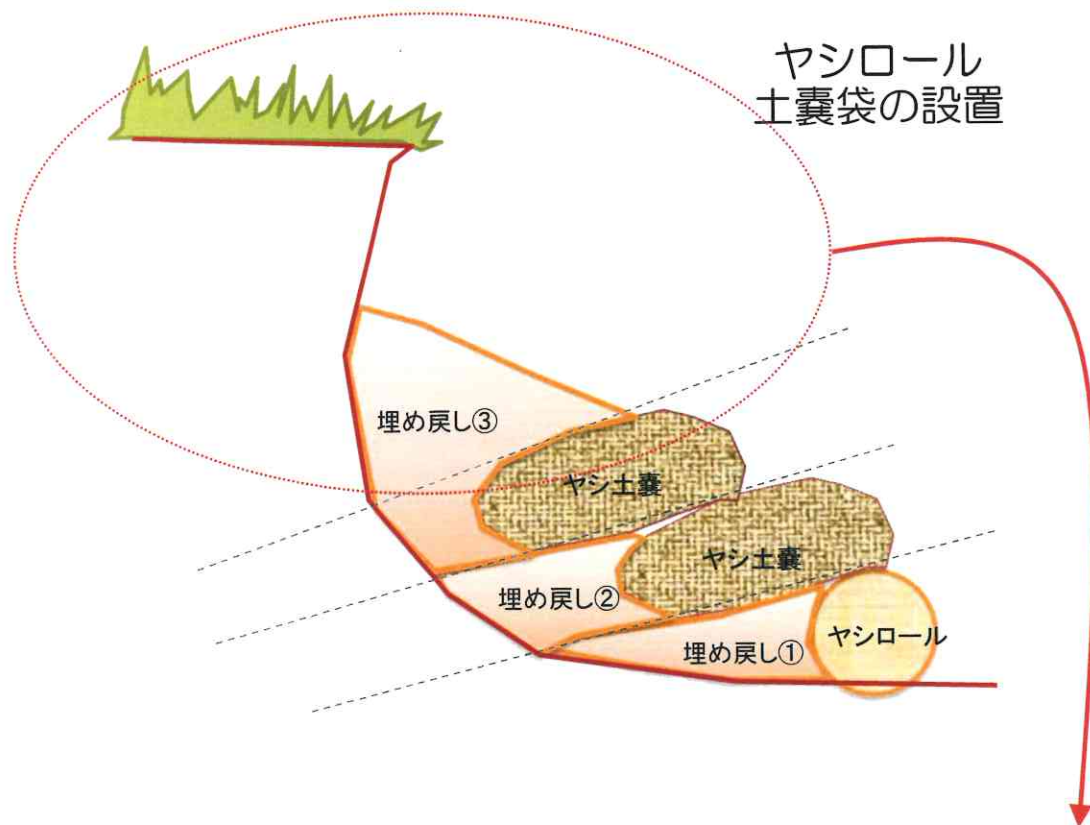
＜土留め＞
土嚢は平坦に置かず、角度やくぼみを入れ、必ず水の通り道を考えた配置にする。



備考

課題(問題点・作業の必要性)／ねらい・目標

施工方法



備考

課題(問題点・作業の必要性)／ねらい・目標

施工方法



7月初旬の豪雨により路床が10～15cm下がっている



豪雨の影響により法面保護工にダメージがあり、補修が必要。
施工と同時に、補修を行なう。



土留めと土壌運搬により
路床を盛り、現状復旧を行なう

備考